

# 針路

宮古市少年センター  
宮古市 市民生活部 生活課  
宮古市宮町一丁目1番30号  
☎0193-62-2111 (内線1817)

## 令和5年度「青少年を非行・被害から守る県民大会」

・令和4年7月12日(水) ・いわて県民情報センター7階 小田島組☆ほ～る

宮古市少年センターでは、少年委員2名と専任少年委員、計3名が参加しました。  
数年ぶりに人数制限のない大会となり、アトラクションも久々に行われ、会場は大勢の参加者で埋まっていた。

【大会趣旨】 毎年7月・8月に行う「青少年の非行・被害防止県民運動」の一環として、県内各地で青少年育成に取り組む方々が一堂に会し、取り組みへの決意を新たにするとともに、青少年への理解をさらに深め、非行・被害防止活動を推進する。

### 【大会内容】

- \* アトラクション 非行・被害防止啓発演奏会(岩手県警察本部音楽隊)
- \* 意見発表・作文発表
  - ・令和4年度「わたしの主張」岩手県大会最優秀賞受賞者
  - ・第72回「社会を明るくする運動」作文コンテスト岩手県推進委員会委員長賞受賞者
- \* 講演 演題「夢中になれるものに出会えたから」  
講師 永井 秀昭 氏(県文化スポーツ部スポーツ振興課)

### 講師:永井 秀昭 氏紹介



岩手県安代町(現八幡平市)出身。中学生からノルディック・コンバインド(スキーとジャンプとクロスカンリースキーの複合競技)を本格的に始め、大学卒業後の2008年1月、岐阜日野自動車(株)と選手契約をする。その後、ノルディック世界選手権大会6回出場のほか、冬季オリンピックには3回出場し、2022年の北京オリンピックでは団体戦で銅メダル獲得。翌年2月のいわて白銀国体にて競技を引退し、4月から県文化スポーツ部スポーツ振興課で岩手の競技力向上やスポーツ振興に携わる。

講演では、夢中で取り組めるものに出会えたことで生活に変化が生まれ夢や目標を持つことの大切さ、夢中になれることのすばらしさを伝えた。

※大会の様子を岩手県青少年育成県民会議のホームページに動画配信を行いますので、ぜひご覧ください。  
動画配信期間(予定)7月14日(金)～8月31日(木) URL: <http://www.ipayd.server-shared.com/>

## インターネット利用マナー啓発活動を実施しました。

日時: 令和5年7月3日(月) 17時45分から  
実施場所: イーストピア宮古市民交流センター&宮古駅前



少年委員と専任少年委員、計3名でイーストピアみやこ市民交流センター1・2階と駅前広場にて啓発活動を実施した。

あいにくの雨と、高校の三者面談が始まったため、いつもより生徒の姿が少なかったが、「こんにちは」と声をかけると元気に「こんにちは!」と返事が返ってきた。「スマホの使い方に気をつけてね」「リーフレットちゃんと読んでね」と話しかけると、キラキラした笑顔で「ハイ!」と返され、とても爽やかな気分を味わった。予定配布数は100セットだったが、今回は71セット配布した。

# 「地域の子どもを育てる愛の一声運動」実施中（7月・8月）

この運動は、内閣府主唱の「青少年の非行・被害防止全国協調月間」に呼応し、地域の子どもたちの安全を守り、健やかに成長できるよう環境を整えるための取り組みです。

宮古市少年センターでは、朝の「おはようございます」から始まり、「こんにちは」「お帰りなさい」「こんばんは」など、日常生活の中で意識的に子どもたちに声かけをしています。

新型コロナウイルス飛沫感染防止を念頭に置き、対策をとりながら、皆さまも積極的に地域の子どもたちに声をかけましょう。



## 7月・8月は「青少年の非行・被害防止県民運動」月間です！

### 非行防止のポイント

#### ♥ 保護者の皆さんへ

子どもたちは、非行に走る前に必ず何らかのサインを発しています。日常の忙しさに追われ、つい子どもだけで食事をさせたり、話しかけられても生返事では、子どもが送っているサインを見落としてしまいます。

#### ♥ 地域の皆さんへ

かつては、地域の大人たちが、悪いことをすると子どもにその場で注意するなど、地域におけるしつけによって子どもたちが規範意識を身につけていきました。

たとえ自分の子どもでなくとも、「悪いことは

### 家庭での非行防止 ～気を付けたい親の態度～

- ①ほめ上手、しかり上手、聞き上手になりましょう。
- ②一方的な押し付けはやめましょう。
- ③兄弟を引き合いに出すのはやめましょう。
- ④成績だけで評価するのはやめましょう。
- ⑤しつけに一貫性を持ちましょう。
- ⑥「子どもの視点」「子どもの心」で考えてみましょう。
- ⑦親が自ら手本を示しましょう。

悪い」と周りの大人がきちんと注意し、本人に自覚させることが大切です。よその子も我が子と同じ気持ちで「声」を掛け合い、地域ぐるみで子どもたちを育てましょう。

～内閣府HPより～



### 巡回日誌より

6月19日（月）6班

（さくら公園→のぞみ公園→板屋公園→かんばな公園→ジョイス宮古店→さくら公園）

今回の巡回は、4名の参加。さくら公園は先月に引き続き、クマの畏が設置中のため立入禁止となっており、外周から巡視した。のぞみ公園ではサッカーの練習をしている親子がおり、声をかけると小学生の男子の元気な挨拶が返ってきた。一瞬ホッと和んだ。

6月28日（水）7班

（津軽石駐在所→公園→津軽石駅→稲荷ヶ下→前田→津軽石駐在所）

日中の蒸し暑さが残る中での巡回。津軽石駐在所長と一緒に、道路標識について説明を受けながら巡回した。生徒の姿はなく、特に問題はなかった。

### 宮古市少年センター

### 5・6月の街頭補導状況

	実施日数		従事人員		指導数	
	5月	6月	5月	6月	5月	6月
午前	0日	0日	0人	0人	0人	0人
午後	1日	0日	2人	0人	0人	0人
夜間	7日	7日	34人	36人	0人	0人
合計	8日	7日	36人	36人	0人	0人

